

●特定道路の指定に関する運用方針（案）が国土交通省から提示

.....
バリアフリー新法において、バリアフリー化が特に必要な道路である「特定道路」は、その路線及び区間を国土交通大臣が指定することになっている。新法は、平成18年12月に施行されたものの、これまでに特定道路の指定は行われてこなかった。また、具体的にどの様な道路が指定されるのかといったことも示されていなかったが、法施行から1年半が経過し、やっと、特定道路の指定に向けた準備が動き出したようである。

国土交通省が定めた「特定道路の指定に関する運用方針（案）」の中では、1）旧法による重点整備地区の基本構想に位置づけられた「特定経路」、2）道路特定事業計画が策定されている場合その対象路線、3）新法による重点整備地区の基本構想に位置づけられた「生活関連経路」の3つが、特定道路として指定すべき道路としている。

バリアフリー新法では、一定の条件のもと、歩道の有効幅員が不足する道路や歩者共存道路も、生活関連経路に位置づけられるように緩和されたものの、バリアフリー化が必要な旅客施設や官公庁・福祉施設等の生活関連施設間を結ぶ道路には、その緩和された基準にも適合が困難な道路が多く存在することが考えられる。

バリアフリー新法が目指す移動と施設の利用の連続的なバリアフリー化を実現するためには、新法に基づく基本構想の策定に合わせて、公共施設の配置計画や土地利用計画といったことも考えていくことが必要ではないかと感じる。

永元真也（第一計画部）

●お盆の東京

.....
ふだんは出歩く気のしない都内も、この時季だけは空の色と時間の流れが変わってきて、ちょこっと出かけてみたくなる。

駅に向かいながら大江戸線の東側はまだ乗ったことがなかったなあ…と思い立って、清澄通り沿いをイメージした途端、「あ！あそこ行こ！」って浮かんできたのが「深川江戸資料館」。展示をリニューアルしたという話も聞いていたので出かけてみることにする。

門前仲町で降りてぶらぶら歩いて行こうと思ったが、しばらくして異変に気づいてひとつ前の清澄白河（いい名前だ）で降りる。

はたして外はかなりな人出ですぐに合点がいく。富岡八幡の祭礼だ。しかも今年は大祭らしい。そのせいで館内はけっこう混んでいるが、ヘキエキするほどではない。

さて、知らないヒトもたまにいますが、ここの知名度の高さは区がたてた常設展示施設としては異例で、まずみんなが知ってる。そして行ったヒトはたいてい「両国の江戸東京博物館よりこっちのほうが絶対おもしろい」って云う。

ていねいな展示、企画ものもしっかりしているが、なんといっても「作り込み」が密なんだ、ここは。押し入れにはちゃんと布団も入っている。小物もさりげなくて、「よく持って行かれないなあ、こんなアケスケで…」と感心するが、こうしたメンテナンスの良さがリピーターを掴んでいると思う。「ああ、廃れたな…ここも」って時がどんなハコものにもやってくるんだけど、ここは未だにたいしたもんだ。因みにぼくはこれで3回目。

結局、どこがどうリニューアルされてるのか判然としなかったけど、まあこれでいいのだ。いや…これがいいのだ（合掌…赤塚先生）。

深川江戸資料館のホームページ（江東区地域振興会）
<http://www.kcf.or.jp/fukagawa/index.html>

山田順造（デザイン室）

●広小路園芸

.....
路地の多いまちで有名な向島を、自転車で走る機会がありました。路地と言え

ば路地園芸ですが、広幅員の道路の歩道と車道の一部を活かした堂々たる広小路園芸を見つけました。また近くには「ダットサン販売所」がありました。

【写真】 <http://www.almec.co.jp/info/news4.html>

このあたりは木造密集市街地ですが、押上駅付近に平成24年春開業予定の新東京タワー（東京スカイツリー）から眼下に一望できる場所になります。

高尾利文（第二計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2008 ALMEC Corporation. All rights reserved.